

メールニュース

No.23-15
2023年 3月29日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

佐賀

配備計画に「反対住民の会」集会 オスプレイ来るな! いらぬ 防衛省は計画を撤回せよ

佐賀市でオスプレイ配備
反対集会 3月26日



佐賀空港（佐賀市）への陸上自衛隊のV22 オスプレイ配備計画に反対する漁業者や住民などで作る「オスプレイ反対住民の会」は3月26日、佐賀市川副町の体育館で集会を開き、約500人が参加しました。

「オスプレイ来るな」と書かれたプラカードなどを掲げながら「軍事基地にさせない」などと配備計画への反対を訴え

ました。

共同通信（3月26日付）は、「防衛省による買収予定地の地権者で、ノリ漁師でもある団体の古賀初次会長（73）は、空港に面する有明海ではノリや貝類の不漁が続いているとして『海は疲弊している。軍事基地を造るのは自然破壊だ』と批判。防衛省は地権者への戸別訪問を始めており『国の甘い言葉にだまされないよう呼びかける』と話した」と報じています。空港へのオスプレイの配備計画をめぐるのは地権者に対し、防衛省は、買い取り価格を示し、買収に向けた交渉を本格的にすすめています。

防衛省は事故続きの危険なオスプレイの配備計画は、直ちに撤回すべきです。日本のどこにもオスプレイはいりません。

海自全イージス艦8隻にトマホーク搭載へ

岸田政権は、米国製巡航ミサイル「トマホーク」の導入に向け、海自のイージス艦8隻全てを2027年度までに改修し、搭載可能にする方針を固めたようです。敵基地攻撃能力を維持するため、長射程ミサイルの配備先を増やすねらいがありますが、イージス艦の基地が相手国からの攻撃の標的となる恐れがあります。

共同通信（3/25 付）は、「イージス艦は現在、横須賀基地（神奈川県）と舞鶴基地（京都府）に2隻ずつ、佐世保基地（長崎県）には4隻が配備されている。政府はトマホークを発射できるようにするため、各艦の『垂直ミサイル発射システム（VLS）』関連の改修費を24年度予算から計上する方針だ」と報じています。



東村高江のヘリパッド工事の反対
行動に全国からの機動隊派遣

10月の二審の名古屋高裁判決が確定しました。

東村高江周辺の工事をめぐっては、ヘリパッド建設反対の抗議活動が行われていました。警備強化のため各地の警察から機動隊が派遣され、一審は住民側敗訴でしたが、二審の名古屋高裁で一部訴えが認められ、県が不服として上告していました。最高裁は23日付けで上告を退ける決定をしました。

県警本部長が公安委員会の意思決定に基づかず、専断で機動隊を派遣したことを違法として、県警本部長に110万円の賠償請求させるよう県に命じた一昨年10月の二審の名古屋高裁判決が確定しました。

沖縄県の米軍北部訓練場のヘリパッド建設に、愛知県警が機動隊を派遣したのは違法だとして、愛知県に賠償を求めた住民訴訟で、最高裁は3月23日、県の上告を棄却する決定をしました。

沖縄ヘリパッド機動隊派遣
最高裁が愛知県の上告棄却
違法を指摘した名古屋高裁判決が確定

陸自オスプレイ 立川駐屯地で2回目訓練（東京新聞3/29付）

陸上自衛隊木更津駐屯地（千葉県木更津市）に暫定配備されている陸自輸送機V22 オスプレイの飛行訓練が28日、陸自立川駐屯地（東京都立川市）であった。訓練は2月1日に開始し、今回で2回目。訓練に反対している市民団体「砂川平和ひろば」の福島京子代表（73）は「このまま訓練が常習化していくのが怖い」と話す。

立川駐屯地によると、V22一機が午後3時ごろ、同駐屯地に飛来し、離着陸を二回繰り返した。速度計や高度計など計器の情報だけを頼りに視界の悪い場所を飛行する「計器航法訓練」も実施したという。

防衛省北関東防衛局はV22の訓練について、2月の1回目は立川市などに事前通知し、2回目以降は通知しないとしていた。ただ、立川駐屯地は27日に同市に通知し、今後の訓練も事前に情報提供をしていくとしている。